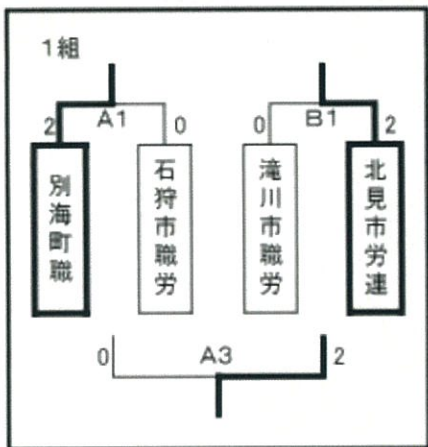
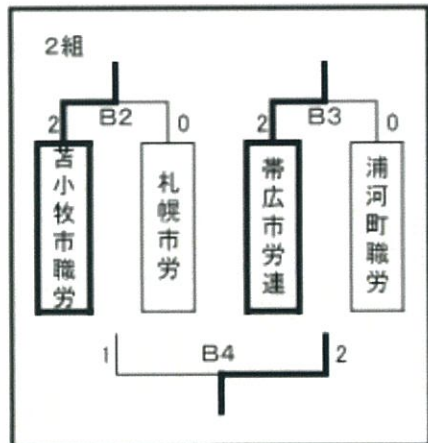


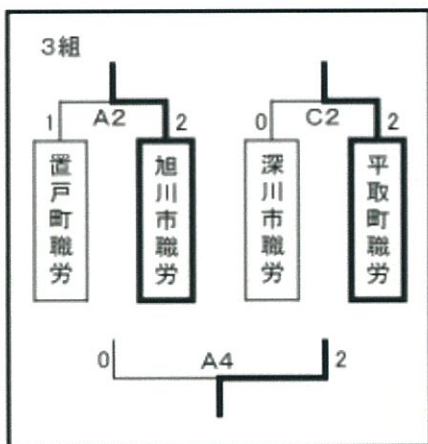
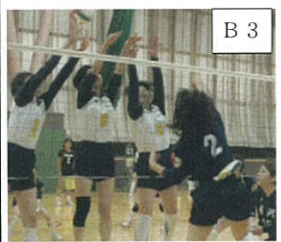
7月25日予選グループ戦 結果と試合状況！



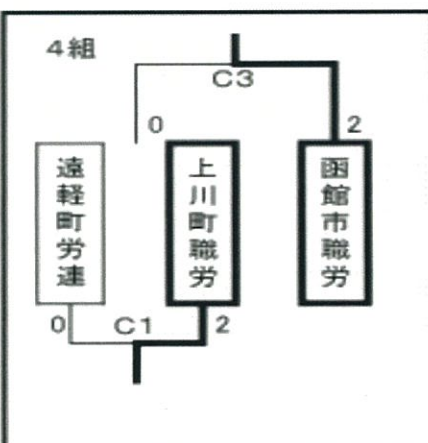
A 1 別海－石狩＝初出場の緊張からか、石狩のミスがめだち、1セット目は別海が先取。2セット目も別海9番小野の連続スパイクが決まるなど、堅実な攻守でそのまま別海が試合をものにした。**B 1 滝川－北見**＝北見は、1番セッター東海林を中心に、3番佐賀、10番高島の強力アタックで、滝川を圧倒した。
A 3 石狩－滝川＝滝川が序盤から強力なサーブ、スパイクで有利に試合を進め、2セットを連取。石狩も応戦したが、最後まで試合の流れを変えることができなかった。 (写真A 1)



B 2 苫小牧－札幌＝1セット目、苫小牧のエース9番岩田、10番中村の活躍で札幌を圧倒。2セット目の序盤は札幌のエース海谷のアタックなどで接戦となる。中盤から8連続得点で引き離し苫小牧が勝利。**B 3 帯広－浦河**＝1セット目は両チームともすばらしいラリーで接戦となるも、自力に勝る帯広が先取。2セット目は中盤からセッターに入った4番酒井が左右のエースを使い分け、10連続得点でねばる浦河を退けた。**B 4 札幌－浦河**＝互いに決勝トーナメント進出をめざす戦いは、つなぎのバレーで息詰まるシーソーゲームとなった。3年目で全道大会初セットをとった札幌であったが初勝利は遠かった。



A 2 置戸－旭川＝序盤から激しいスパイクの打ち合いやラリーが続き、お互い譲らず迎えたファイナルセット。置戸は全員バレーで粘りを見せるが、序盤の疲れかミスがひびき、最後は旭川に軍配があがった。**C 3 深川－平取**＝1セット目から両チームのラリーが展開される。随所に平取のブロックが決まり、平取先取。2セット目は深川の強烈なスパイクを平取が拾う展開となり、深川に振り切り勝ちとなった。
A 4 置戸－深川＝深川が序盤リードするも、置戸も粘りシーソーゲームの展開。デュースにもつれ込み1セット目は置戸がものにしたものの、深川の6番野村を軸にした攻撃で流れをつかみ、深川が何とか逃げ切った。



C 1 遠軽－上川＝序盤から一進一退の攻防。攻めの遠軽に対し、粘りの上川。遠軽のサーブに揺られるものの、最後は上川のレシーブ力が遠軽を上回り辛勝した。**C 3 函館－遠軽**＝函館の高井攻撃力が遠軽を圧倒する。遠軽もレシーブで返すものの、終始函館ペースで試合が終了した。

